

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 2019.7.4

No.4

豊岡市のホームページにもアップしています
豊岡市 HP→左中段「⇒くらしの情報」→右中段「⇒教育委員会」
→「⇒教育研修センター」からご覧いただけます

豊岡市英語教育研修会



6月17日(月)、小・中学校の教員40名の参加のもと、豊岡市英語教育研修会を開催しました。まず、豊岡南中学校 谷山真一教諭、イッセイ・ライアン ALT による1年生の授業が公開されました。参観者からは「授業の目標や流れが明確で、視聴覚教材を効果的に扱うなど、生徒にとってわかりやすい授業だった」「中学校の授業の様子が見られて、見通しがもてた」などの声が聞かれました。

続いて、本研修は県教委主催の「大学と連携した英語指導力向上事業」に係る研修会を兼ねており、昨年度受講された豊岡南中学校 山本徳子教諭が、受講内容に基づいた講義を行いました。

その後、株式会社インタラック 澁谷氏、ホッケル氏から、学級担任・教科担任とALTの役割、ALTをいかす授業づくり、教材の活用等、効果的な言語活動の進め方について示唆をいただきました。



豊岡市学力向上に係る学習会

6月20日(木)に豊岡市学力向上に係る学習会を行いました。まず、こども教育課 指導係高田係長が「ひょうごつまずきポイント 指導事例集」の活用について、講義を行いました。担当する学年に加えて、各学年・領域に共通する「つまずきポイント」や学習内容の系統を意識すること、児童生徒のつまずきの解消に向けた授業改善を行うこと等を再確認しました。



その後、神戸大学 岡部教授に「算数・数学科における『主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善』のポイント」と題して講義をしていただきました。

授業の中で、「いろいろな知識を関連付けること」「子どもが困っていることを話し合わせること」「数学的活動

と記号表記(式など)をつなげること」等、子どもの思考を深めるポイントについて示唆をいただきました。

グループ協議では、岡部先生の講義を受けて「子どもたちが、思考を深める授業づくりについて」「子どもたちが、その時間の学習内容を活用する(後半重視型)授業づくりについて」協議をしました。実践事例集に記載されている事例等を活用し、実践的な話し合いが行われました。

